



「住民こそ主人公」

市議会報告
きずな

「きずな」の定期配布
「きずな」は、市政や市議会など身近な情報を提供する地域情報紙をめざしています。定期的な配布（無償）希望の方は連絡を下さい。

第951号
2021年3月21日（日）
発行 日本共産党井上かつひろ事務所
薩摩川内市榎脇町塔之原 10439
Tel 38-0237 携帯 080-3996-0237

3月議会一般質問

世論は「脱原発」

9日、日本共産党の井上かつひろ議員は、3月市議会本会議で一般質問に立ち川内原発、エコパークかごしま、新型コロナウイルス感染症対策市営住宅家賃減免について質問しました。数回にわたって紹介します。

原発防災訓練中止 コロナ禍で避難令

井上かつひろ議員は、予定していた今年の原子力防災訓練が中止されたことに関し、「コロナ禍で原発事故が起きた場合に住民を避難させられるかどうか検証する絶好の機会だ。中止ではなく延期してもやるべきだ」と質問。田中良二市長は、訓練が中止になった理由を述べましたが、延期しても訓練すべきという質問に答えませんでした。

新たな「安全神話」許さない

また井上議員は「コロナ禍で原発事故が起こった場合、避難は不可能ということを経験したことがないか」と指摘。田中良二市長は、「実際の避難でもコロナ感染対策は行っている」と答弁しましたが、今回なぜ訓練を中止したのか答弁はありませんでした。井上議員は、「少なくとも避難訓練ができないということ、住民の安全をまもれないということではないか。今すぐに川内原発の停止を九州電力に申し入れるべき」と質問。田中市長は「（九電に）停

止（を求めよ）」というの
は井上議員の考えだ」と
述べるだけでした。

3号機増設

市長「事業者の判断」

川内原発3号機の増設に
関し、九州電力が「新増設は必要」（原発は）重要なベースロード電源」と述べたと報道されていることについて、井上議員は「増設などんでもないことだ。増設計画の取下げを求めるべき」と質問。田中市長は「新増設については電気事業者の判断」と3号機増設容認を否定しませんでした。

（二面に続く）

化学物質使用 無届け発覚

市民団体
環境NGO指摘

井上議員一般質問

鹿児島県が薩摩川内市川永野町に整備した産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」が、環境省に届け出の必要な化学物質「塩化第二鉄」を届け出ているか

たことをエコパークが認めました。9日の日本共産党の井上かつひろ議員の質問によって明らかにになりました。PRTR法（化学物質排出管理法）では、塩化

PRTR（化学物質排出管理）
制度
汚染物質の排出および移動登録に関する制度であり、有害性が疑われる汚染化学物質が、どこから、どの程度環境中へ排出されているか、あるいは廃棄物等の一部として移動しているかを把握し、集計・公表する仕組みのことをいいます。薩摩川内市クリーンセンターなど県内43事業所、全国で33669の事業者が届け出ています。

の届け出なかったもの

こちらくらの
相談所 (No. 452)
なんでもご相談
ください。
携帯 080-
3996-0237 (井上)

光がやってくる！

旧川内市の地域で光通信未整備地区は今年4月～8月、榎脇入来東郷、祁答院と甌島は来年4月から光サービ

スの提供が始まります。薩摩川内市は、中心市街地とその他一部地域に光通信が整備されていますが、広大な地域は未整備でした。「光が届いちゃらん」と住民から言われ続けてきました。情報政策課に要望を伝えていましたが返ってくるのは「利用者の少ない地域には光は来」と東京の環境NGOが指摘していました。

“ゼロカーボンシティ宣言” 陳情採択

生活福祉委員会て全会一致

入来町の市民が提出した薩摩川内市長に対してゼロカーボンシティ宣言を求める陳情書が、10日に開かれた市議会生活福祉委員会において全会一致で採択されました。

陳情は、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す。実現に向けて取組を進める「地球温暖化対策実行計画」を立て挑戦することを国内外に宣言するよう求めるものです。日本共産党の井上かつひろ委員は、「近年、猛暑や豪雨など異常気象による災害が国内外で増加しており、世界的に『気候危機』と呼ばれるほどきわめて切迫した状況にあると言われている。その原因であるとされる二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることは次世代に対する我々の責任だ」と賛成討論を行いました。反対者はなく、全会一致で陳情は採択されました。25日、最終本会議で委員長報告のあと採決されます。

エプロンおばさんの簡単クッキング (518)

大根の1日干しのQちゃん漬



干し大根……1K	濃い口……1か
(A)	酢………1か
うす口……1/2か	三温糖…200～
みりん…1/2か	250g

- ① (A) を煮立て一日干しの大根を8～10分位煮る
- ②ザルに①を取り上げ、煮汁だけ1/2量になるまで煮詰める。
- ③粗熱がとれたら②の大根と生姜の細切を入れ保存する。

※Qちゃん漬は、過去(きずな927号)にも掲載しています。M・Tさんがきゅうりのかわりに干し大根でつくって見たそうです。「もったいない」からと主婦の目線ですね。とても美味しく読者の皆様へ紹介したいと申し出ましたら、快く承諾して頂きました。お試してください。私も感動しました。

(一面から続く)

世界一厳しい規準 新しい「安全神話」

井上議員は、民間事故調査委員会の「原発事故10年目に当たって『政府が世界一厳しい規準』としたことで新たな安全神話に日本が再びとらわれてしまった」と指摘して市長の感想を求めました。田中市長は「今後とも安全運転に取り組みられるように申し上げてきたが、これからも同じ」と

述べるにとどまりました。

「広聴の実践」いうなら 原発ゼロ世論に従え

井上議員は、前日の本会議で市長は、政治信条を問われ「市民の皆さんによりよい」「真摯に声に耳を傾けて」「トップダウンではなく広聴の実践こそ重要と考えている」と述べながら、昨年12月議会で、「世論をど

う見ているか」という私の質問に「政策決定のあり方として」市当局(略)26名の方(市議)のおおのこのエネルギー政策、20年延長に関する専門的な議論、このことを市長としては最大に重視している」と述べられている。市長の政治信条は原発に関しては例外なかと質問。田中市長は「現在も考えは変わらな」と述べて、矛盾しているという指摘に言及しませんでした。

井上議員は、「時事通信社がおこなった全国世論調査では『国民の76%が脱原発を指向している』という結果が出た。世論に従えばこれ以上、川内原発の運

転延長はあり得ないのではないかと質問。田中市長は「世論調査やアンケートに対して特にコメントはない。福島第一原発事故の反省をふまえて安全運転

の徹底を行うことが最大のことだと考える」と述べ、原発ゼロを願う世論に背を向けました。(一般質問の続きは次号のきずなに掲載)

「資本主義はこのままでいいのか」「コロナ禍後の日本は？」あなたの疑問にお答えします

九州・沖縄ブロック 日本共産党

ネット

演説会



オール野党で
政権交代

小池 4/4



晃 書記局長 参議院議員

14:00 スタート

会場 SS プラザさんだい 305 会議室
(川内駅コンベンションセンター)

私たちも訴えます



衆院比例九州沖縄ブロック予定候補
比例は日本共産党

あなたのスマホからもご覧になれます

YouTube「日本共産党」
(JCP MOVIE) で配信

【お問い合わせは、最寄りの県・地区委員会へ】
 鹿児島県委員会 099-251-7333 鹿児島地区委員会 099-257-5333 薩摩西部地区委員 099-274-8881
 始良地区委員会 0995-73-8988 大隅地区委員会 0994-43-4031 熊本地区委員会 0997-22-1334
 奄美地区委員会 0997-52-1462

九州沖縄民報 発行：日本共産党国会議員団九州沖縄ブロック事務所 福岡市中央区薬院3-1-3 12大場ビル3階 電話092-526-1933



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生のつれづれなるままに (643)

夢を見る。それも道に迷ったり、列車に遅れたりする夢だ。今朝もその一つ。バッグにあれこれ詰めていたら、列車に遅れた。次は？と尋ねると二時間後という。場所は確か沖縄だった。遅れた、遅れたと騒いでいると、見知っている人が駆け寄ってきた。駅まで送りますという。見ると、船みたいな車である。まあいいか、とその船に乗り込む。ひよいと周りをみると、新任地に赴いた先生方がぞろぞろ歩いていく。どうしたのですかと聞くと、新しい土地での施設巡りだという。その行列のなかに、かつて出合った顔がにこにこ笑っている。ふむふむ。赤旗配達で、配る場所が分からなくなった夢もよく見る。これには前触れがあつて、配達を飛ばして、果てどこに配り忘れたかなと、実際に起きた出来事が夢につながった。たいてい吉川集落みたいな山村で、さて、この道を行くと、Aさん宅だったかなと、行ったり来たりする。またあるときは、向田のごみと込み合ったみだりな場所、さてさて、どの家だったかなと立ち止まって考える。道で迷うときは、たいてい山崩れが起きなったり、洪水で道が見えなくなったりするときは、どちちの方に行つたらいいですかと聞くと、ああ、それだつたらこちらを進んでくださいと、遠回りとなる。どうやらこちらの画像は、よく見る「ポツンと一軒家」が再現されているみたいだ。老いて現実の世界に刺戟がなくなつた分、夢で刺戟をもらつているのだ。(高来児童クラブ支援員)

